

みくくに



豊島の海岸にて

2024年 標語聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。
だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

マタイによる福音書 7章7～8節

社会福祉法人 みくに園

障害者支援施設 みくに成人寮

TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920

〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902番地1

HP: <http://www.teshimamikunien.com>

「しあわせ×しあわせ」

高齢者棟副主任 佐藤 栄晃

私の前職は保育士でした。保育士を目指すきっかけになったのは、私が保育園の年長の頃に担任の先生から言われた一言でした。「佐藤君は下の子のお世話が上手やねえ」。その言葉は今でも鮮明に覚えており、私の人生に大きな影響を与え、保育の専門学校に進むことになりました。

専門学校では、日々勉強に励み、子どもの成長過程、愛着、発達支援など、「ただ子どもと一緒に遊ぶだけ」と、甘い考えをしていた私にとって、驚くような内容ばかりでした。座学だけでなく、ピアノや歌、保育実習もあり、中でも実習は何度も心が折れそうになった覚えがあります。そんな実習の中で印象的だったのが、施設実習です。私がお世話になったのは、就労継続支援B型や生活介護を行う施設でした。初めて関わる障害者の方たちは、とても穏やかで、気さくな方ばかりでした。その経験は今の私の原点になっています。

専門学校卒業前の授業で先生から「福祉とは何だと思えますか？」という問いかけがありました。「施設で支援を行うこと」「利用者さんの暮らしをサポートすること」など様々な意見が出ましたが、先生が考える福祉とは、お互いがしあわせであることでした。

子どもや利用者さんのしあわせを考えることは大切です。そして、同時に保育者や支援者もしあわせだと感じられる保育や支援を目指すこともまた、福祉のあり方であり、誰か一人だけがしあわせになるのではなく、みんながしあわせになれることが福祉であると語ってくださいました。

福祉の漢字は「福」と「祉」、どちらも同じ「しあわせ」を意味しています。「利用者さんのしあわせ×支援者のしあわせ」は、「しあわせ×しあわせ」なのです。

卒業後、紆余曲折あり、みくに園に就職してから今年で5年目となりました。忙しい毎日ですが、その中で得られる、利用者さんたちの笑顔は、私たち職員のしあわせに繋がっています。

～日々の楽しみ～

高齢者棟 片岡 明子

買い物や外食、イベントなど、利用者さん達に楽しんでもらえるように職員みんなで計画しました！

まずは、外出です。少人数のグループで島を飛び出し高松へ向かいました。利用者さんは、久しぶりの外出に数日前から「何を買おうかな？」「スイーツ食べたいな」など、自分だけの買い物リストを作成し胸を躍らせていました。外出当日は、みなさん買い物リストと目の前の商品を見比べながらじっくりと選んでいました。嬉しそうに選んでいる姿に私達職員も笑顔になりました。



みくに園の近くにある『いちご屋』さんをご存じでしょうか？豊島の観光パンフレットやHPにも紹介されている、いちご農家直営のスイーツのお店です。夏場は、かき氷・ソフトクリームが人気で、自家製のいちごソースがたっぷりかかってとてもおいしいです。今回はテイクアウトで、みんなでソフトクリームを食べました。いちごソースの甘酸っぱさが利用者さんに好評でした。

島内には、他にも新しいカフェがオープンしています。そちらも利用できたらと計画中です。



そして、またまたオープンしました「みくにカフェ」！今回は利用者さんからのリクエストで色々な種類のドーナツやクッキーを準備しました。みくに園自慢のコーヒーマーカーで淹れる薫り高いコーヒーとの最高の組み合わせにみなさん優雅なひと時を過ごしました。

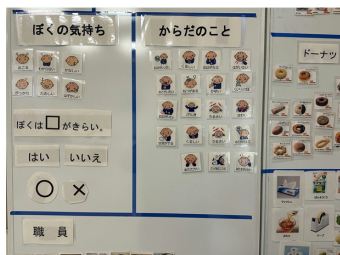
また、四季折々の行事も工夫して行っています。こうした、行事やイベントを通して、施設生活の中で季節の移り変わりや楽しみを見つけてもらえたらと考えています。



施設内研修

令和6年6月18日、施設内研修として「自閉症者への取り組み」の実践発表を行いました。内容は主に「構造化」についてです。「構造化」とは、自閉症者のための支援技法で、文字や絵、写真等を用いて、物の配置やここで何をするのか、次に何をするのか等を視覚的に分かりやすく表すことです。みくに園では2013年から取り組んでいます。構造化を通して、利用者さんが自分で行動することができるようになり、活躍する場面が増えました。その活躍は、利用者さんの大きな自信に繋がっています。また、言葉で表すことが苦手な利用者さんも写真や絵を通して自分の思いを伝えることができ、利用者さん自身が自分で決定する場面もみられます。こうした取り組みや実践を職員間で共有し、これからも質の高い支援ができるように、職員全員で取り組んでいきたいと思ひます。

〈高橋 記〉



〈一般棟の壁に張り出しているカード〉

カードは磁石で自由に取り外しできる。自分のお気に入りのカードを持って、くるくると回している利用者さんもある。不思議なことにカードが無くなることはなく、いつも所定の位置に戻されている。

豊島地区連合運動会

毎年5月に行われている豊島地区連合運動会。ここ数年は、感染症の流行により参加することができませんでした。今年は4年振りに参加し、利用者さん達が大好きなミュージック・ケアの「オブ・ラ・ディ、オブ・ラ・ダ（ビートルズ）」の曲に合わせて踊りました。練習時間が少ない中、みなさんに披露できるようになるのか、とても不安でした。しかし、練習の初日、鳴子を持ち、音楽が流れると、利用者さん達は自然と楽しそうに踊り出し、元気に鳴子を振り始めました。その姿を見て、私達職員の不安は無くなり、運動会で披露することが楽しみになりました。

待ちに待った運動会当日はあいにくの曇り空でした。出番を待つ間、小雨が降ることがありましたが、みくに園の出番になると不思議なことに雨は上がりました。たくさんの地域の方々が見守る中、ドキドキしながらいざ本番！みんな弾ける笑顔で、元気いっぱい鳴子を振り、素晴らしい演技で、大成功でした。地域の方々からたくさんの拍手や温かい言葉を頂き、利用者さん達も「楽しかった」「また出たいな」と、とても喜んでいました。

地域の一員として、運動会に参加できたことをとても嬉しく思います。来年は何の曲で参加しようかなと今から考えています。

〈古川 記〉



今年の屋台は、アイスクリーム、ジュース、輪投げ、駄菓子屋です。1番の人気は輪投げです。



夏祭り2024

今年もみくに園に熱い夏がやって来た。
食べて、笑って、楽しんで、みんなで暑い夏を乗り越えよう！



みんなが楽しみにしている夏祭りメニュー。焼きそば、たこ焼き、唐揚げ、フランクフルト、アメリカンドッグ、フライドポテトと盛りだくさん。



キッチンカーがやってきた！

利用者さんからの要望で、今年もピザのキッチンカーがみくに園へやってきました。キッチンカーを目にした利用者さん達はワクワク、ソワソワと大喜びです。

このキッチンカーには本格的な石窯が備わっています。その窯からこんがり焼けたいい香りが漂ってくると、利用者さん達の「早く食べたい！」の気持ちがあふれてきます。

待ちに待ったピザタイムでは、次から次へと焼き上がる7種類のピザにみなさん思わず笑みがこぼれます。大人気はチーズがたっぷりのマルゲリータです。熱々のピザを頬張りお腹も心も満たされ、とてもしあわせな1日でした。
〈柴田 記〉



* 行事 *

7月18日	夏祭り
8月8日・9日	済生丸健診
8月10日	帰省日
8月15日	帰寮日
8月19日	パワーハラスメント研修
9月25日	認知症に関する研修
9月	虐待防止研修

* お知らせ *

- ・5月30日 環境整備の日として、みくに園周辺の水路掃除や草刈りをしました。
- ・6月10日～6月21日の10日間、高松大学発達科学部子ども発達学科の実習生2名を受け入れました。
- ・新型コロナウイルス感染症が再流行しています。みくに園では基本的な感染対策を実施し、感染予防に努めています。

編集後記

「暴れ梅雨」、近年毎年のようにやってきては各地に爪痕を残していく。今年も愛媛県の松山市では、3日間で1か月分に相当する雨が降り、松山城の山の斜面が崩れ複数の住宅をのみ込んだ。土砂崩れが発生したときは雨のピークは過ぎ、大雨警報や土砂災害警戒情報などは発令されてはなかった。記録的な長雨が続き雨が止んだ後も土砂災害のリスクが高く、時間差で災害が起きるケースもあり暫くは警戒が必要だ。土石流や土砂災害など、災害が起こる直前に、普段とは違う音やにおいなどがあるといわれる。そういった普段と違う現象を察知したら即行動することが命を守る大前提ではないか。梅雨が終われば、次は災害級と言われるほどの酷暑が待ち受けている。もはや、室内にいただけでは命は守れない。どのように利用者さんの命を守るのか。尋常ではない暑さへの対応が急務である。
〈近本 記〉

* みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail: kgk03317@nifty.com

FAX: 0879-68-3920

みくにだより編集部：(162号 2024年8月発行)